

# 若くても、経験がなくても、

# 自主的にプロジェクトを

# 進めていけるのは楽しい



ダウ・ケミカルグループ 研究開発部門 (R&D) N.T

2012年 青山学院大学大学院 理工学研究科 修了  
研究内容: 遷移金属錯体を触媒とした新規合成経路の開拓

2012年 入社。以来、さまざまな市場に向けた接着剤を開発

## いろいろなモノづくりが できそうなダウを選択

大学・大学院時代に所属していた研究室では、遷移金属触媒を使った有機合成を行っていました。学会発表や論文提出に積極的に挑戦する一方で、研究室のメンバーと楽しく過ごしたいとの思いからイベント企画にも尽力していました。そして土日は朝から晩までアルバイトに励むなど、忙しくも楽しい毎日を送っていました。そんな私が就職先を選ぶ時に重視したのは、①学んできたことを活かせる、②勤務地は首都圏、③顧客の顔が直接見られるB to B企業、④実験と顧客対応のどちらもできそうな開発職または技術営業職、⑤埋もれたくないで従業員数はそんなに多くないところ⑥海外の方と一緒に働くチャンスがある外資系…という6つ。ダウを選んだのは、条件に合っている(⑤について、ダウの日本法人は1000人程度)上に、素材科学メーカーだからこそ、幅広い産業分野に貢献できるのがおもしろそうだったからです。

## 配属2年目、自動車業界 Tier1 企業の主担当に

入社2年目の終わり、自動車のエンジン ECU などに使われる放熱製品担当の先輩と一緒に仕事をすることになりました。自動車1台に必要な部品は約2万円。多数の企業が協力して1つの製品を作っています。その中で、担当製品の顧客は Tier1 (一次請け負い) と呼ばれる企業群の中の大手企業でした。その企業では、

ある自動車メーカーが2年後に発売する新車用の ECU を開発中で、そこに使用する放熱グリースと呼ばれる材料の開発をダウに依頼しているところでした。はじめは先輩と一緒に実験をしながら放熱製品について勉強していたのですが、数ヶ月後、突然先輩が退職することになり、まさかの自分が主担当になってしまったのです。当時は長期の信頼性試験を突破できるものがなかなかできず、製品コンセプトの方向転換を強いられていたころ。でも私は、不安どころか自分のプロジェクトができることが嬉しくて逆に燃えてきました。辞めてしまった先輩と比べたら私は非常に経験が浅かったので、「とにかく実験しよう。わからないことがあれば、部長やメンターの先輩がサポートしてくれる」と思い、検討を進めていきました。ダウは、全く面識のない方、海外の方、自分の製品とは全く関係がない部署の方でも、質問するととても親切にアドバイスをしてくれるので、周りの方々にたくさん助けられました。半年後、長期信頼性試験をクリアできるサンプルが完成。初めての顧客訪問が決まった時、上司は私が全て自分で説明できるように事前に打ち合わせてくださいました。当日は緊張しながらも顧客へプレゼンすることができ、上司は横に座って見守ってくれていました。ここまで若手を信頼してくれる会社なのかと思いました。その後も顧客からの要求項目がどんどん追加され、だいぶ苦労したのですが、「もう限界」と思うたびにメンターの先輩や他チームの方々がサポートしてくださり、最終的に顧客の全ての要求特性を満たす、世界に一つの放熱グリースが完成しました。

## グローバル企業なのに 社内の距離感が近い

入社して現在までに感じているのは、就職先を選ぶ際に希望していたことはすべて叶っているということ。それに加えてダウに入ってからわかった良さもあります。一つは、上記の通り、若いうちから仕事を任せてもらえ、雑用やお手伝いだけで何年も過ごすということがないこと。そしてもう一つは、こんなにグローバルな大企業なのに、社内がとてもフラットなことです。放熱グリース開発も、プロジェクトリーダーは韓国にいる韓国人。アメリカや中国の開発担当者とも開発状況を共有するための電話会議をしたこともありました。上司の呼び方も、「〇〇部長」ではなく「〇〇さん」です。私の上司よりもかなり上の役職のアメリカの方とも1対1で話せるし、来日された際には、一緒に遊びに行ったりしたこともあります。反対に、当時若手だった私にも、会ったこともない中国のエンジニアから突然「〇〇について教えて欲しい」とチャットが来たりすることもありました。こんなおびのびした環境で、さまざまな国のエンジニアと交流しながら、いつか海外の顧客とも渡り合える技術力と会話を身に付けたいです。

## ダウの魅力 ～まとめ～

- 1 若くても一人前の仕事が任せられる
- 2 各産業の最先端製品を、顧客と一緒に開発できる
- 3 社内がフラット。上司や海外の同僚とも距離が近い + 働きやすさは◎。フレックス勤務、お休みも取りやすい

## 私のイチ押しポイント！ 自身のキャリアを実現しやすい

### 私の入社後の開発テーマ

- 2012年 4月 LED封止材関連(OJT)
- 2013年 8月 自動車ECU用1液低温硬化接着剤の開発(本配属)
- 2014年 3月 自動車ECU用放熱グリースの開発
- 2016年 8月 スマートフォン向け接着剤の開発
- 2016年10月 半導体向けフィルム接着剤の開発

ダウでは、時期に問わずいつでも自身のキャリアについて上司と面談することができます。もちろん必ず希望が通る保証はないですが、他の職種(開発から技術営業、マーケターなど)への異動希望についても躊躇なく伝えることができます。また、キャリアアップのためにどんなアクションが必要かもアドバイスが得られます。私は放熱製品を担当した後、他の業界向けの製品開発も経験したかったのでその旨を上司と相談し、現在はスマートフォンや半導体分野向けの製品開発を担当しています。